

# 地域に根ざす ボーイスカウト活動 ～大都心地区・千代田第1団のケースより～

ボーイスカウト東京連盟 千代田第1団 団委員長 飯塚 正秀様

千代田第1団・団委員長  
／大都心地区副委員長  
飯塚正秀様  
千代田第1団・カブ隊隊長  
／大都心地区副コミッ  
ションナー(カブ部門担当)  
志度昌宏様



【ボーイスカウト活動の基礎知識＝志度昌宏より】

ボーイスカウト活動の基礎知識となるような概要をお話しさせていただきます。

ボーイスカウトはイギリスの軍人、ベーデン・パウエル卿が1907年に始めた活動です。無人島に少年達とキャンプをしたところ、とても自発的・自立的に行動したこと、野外活動を通して青少年を育成できると考えたのが最初です。

活動者数は世界中で4000万人、日本では約8万人が活動しています。ボーイスカウト出身者には、ケネディ元米大統領やビル・ゲイツ氏、スティーブン・スピルバーグ氏などがいます。日本では麻生太郎元総理大臣や岡田武史元サッカー日本代表監督などがいます。宇宙飛行士では月に降り立った12人中11人がボーイスカウト経験者で、野口聡一さんもボーイスカウトです。

ボーイスカウト活動は青少年育成のための教育活動です。世界共通のビジョンは「Creating a Better World (より良き社会を創る)」で、その目的は、「より良き社会人の育成」です。ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信および国際愛と人道主義を把握し、実践できるようにすることが目標です。日本連盟はキャッチフレーズとして「なるう。一人前に。」を掲げています。

年齢別に以下の5つの部門があり、1995年からは女子も参加が可能です。

- ・ビーバースカウト (小学1～2年生)
- ・カブスカウト (小学3～5年生)
- ・ボーイスカウト (小学6年生～中学3年生)
- ・ベンチャースカウト (高校1～3年生)
- ・ローバースカウト (18歳～25歳)

ボーイスカウトというように、主に中学生であるボーイスカウトの活動が中心になっています。彼らはテント泊をし、自炊をしながら、さまざまな課題に取り組んでいきます。スカウトを卒業すると以後は指導者(リーダー)として参加します。指導者にも教育制度があります。日々の活動ではスカウトから逆に教えられることも少なくありません。スカウトは「ちかいとおきて」をもって活動しています。

ちかいは以下です。

私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます

1. 神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります
1. いつも、他の人々をたすけます
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います

おきては次の8つです。

1. スカウトは誠実である

【千代田第1団と私＝飯塚正秀より】

千代田第1団は1945年(昭和20年)少年団として始まっていました。

戦後再開された日本のボーイスカウト運動の中では、昭和22年2月、最初の5つのモデル隊の1つとして隊員16名で結成された「東京第5隊」が、今の千代田第1団の母体です。

ちなみに「東京第1隊」は「世田谷第1団」成城学園初等学校内に、「東京第2隊」は「台東第1団」永伝寺、「東京第3隊」は現在ありませんが神社内にあったと聞いています。「東京第4隊」は「港第1団」霊南坂教会で、これら4隊は学校や宗教組織を母体としています。「東京第5隊」は唯一の地域隊での活動隊です。

それ以後、いろんな困難もありましたが諸先輩並び隊員達の非力な努力により、スカウト300余名、団全体では500名近くを要し、3隊編成で活躍する伝統ある団として発展してきました。

しかし昭和53年春、東京連盟の組織変更を機会に、発展的に3個団に分割し主に千代田区を活動の基盤とする「千代田第1団」と、港区の「港第16団」、文京区の「文京第6団」に分かれ、それぞれが兄弟団として各地で活動をしています。

平成に入り東京連盟の地区制度により「大都心地区」内で「千代田第1団」を2個団に分割することになり、「新宿23団」を発足させました。ただ新宿23団は現在ありません。

60年以上、靖国神社で奉仕活動をさせていただいている関係から、地区団ですが活動拠点を靖国神社にお借りしながら活動しています。現在の登録者数は80名を超えています。東京第5団時代から始めた「靖国バザー」も今年、56回目を開催しました。

ボーイスカウト活動の大型行事に「ジャンボリー」があります。当初は全国大会として開催され、第1回は昭和24年、皇居前で開催されたそうです。ジャンボリーとしての第1回は、昭和31年に軽井沢で開催されています。世界のスカウトが参加する「世界ジャンボリー」も4年に1度、開催されています。直近は2023年の韓国で、今回はポーランドでの開催です。千代田第1団からも世界ジャンボリーへスカウトを派遣できるよう取り組んでいるところです。

2. スカウトは友情にあつい
3. スカウトは礼儀正しい
4. スカウトは親切である
5. スカウトは快活である
6. スカウトは質素である
7. スカウトは勇敢である
8. スカウトは感謝の心をもつ

3 つのちかいをしていることから、ボーイスカウトの敬礼は三本指です。ちなみにカブ隊は簡易化された「やくそくとさだめ」になり、やくそくは 2 つのため、敬礼は 2 本指でのピースサインになっています。活動のモットー（規範）は『そなえよつねに』、スローガンは『日日の善行』です。

ボーイスカウトの活動は大きく次の 3 つです。

1. 野外活動：キャンプやハイキングなど、自然の中での活動を通して自立心を育む
2. 社会活動：地域の清掃活動や募金活動、施設訪問など、社会に貢献する活動を通して、社会の一員としての自覚を育む
3. 奉仕活動：困っている人を助ける活動を通して、奉仕の精神と社会貢献の意識を育む

教育方法には大きく 2 つの特徴があります。

特徴 1：小グループ活動（班制教育）

- ・ 6～8 名で 1 つの班（カブ隊は組）を作り、班長／組長を中心に活動
  - ・ 班員／組員同士が協力し、役割分担をしながら活動することで、協調性や責任感を育む
  - ・ 班／組の間で競争することで、リーダーシップや問題解決能力を育む
- ベンチャー以後は、より個人の能力開発にシフト

特徴 2：進歩制度（バッジシステム）

- ・ 必ず身につけるべき共通のもの（修得課目）と、各人の趣味や得意な技能を伸ばすもの（選択課目）がある
- ・ 色々な活動を通じて修得に努力する
- ・ 課目を完修すると「進級章（バッジ）」を与え進歩状況を可視化

成長を可視化するためにさまざまなツールが用意されています。制服、ネッカチーフ、記章、進級章、技能賞、チャレンジ章などです。

団には、ビーバー隊やカブ隊、ボーイ隊などがあり、それを束ねるのが団委員長です。各隊とは別に、育成会があります。育成会や保護者や団の OB/OG などで構成され、活動費などを含め団の活動を支えています。

団は、地域の支援を受けて活動しています。寄付など金銭的なこともあります。キャンプなど活動をする際の場所の提供や、例えば釣り集会をする際に釣りが得意な方に講師をしていただくなどの形で関わっていただいています。

千代田区内のボーイスカウトですが、千代田第 1 団のほか、第 6 団、第 7 団、第 8 団、第 9 団、第 10 団、第 11 団があります。

このうち、第 1 団の第 6 団は地域団です。第 1 団が飯田橋、市ヶ谷、四ツ谷、麴町エリア、第 6 団は神田、秋葉原エリアが主な活動地域です。

第 7 団、第 8 団、第 9 団、第 10 団、第 11 団は大学の団です。それぞれ明治、法政、日大、専修、上智です。

港区、新宿区内にも大学の団があります。慶應、早稲田にもあります。大都心地区は大学団が多いという特徴があります。

本当に簡単ですが、ボーイスカウト活動の基本をお話しさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。引き続きのご支援をお願いします。団行事などにもお運びください。

12 月 15 日（日）はクリスマス会、12 月 31 日（火）の大晦日は靖国神社さんで篝火奉仕をさせていただきます。初詣にお越しの際はお声がけください。

年明け、1 月 19 日（日）は新年会でお餅つきです。6 月の第 1 日曜日を予定しているバザーにも是非、お立ち寄りください。本日は、ありがとうございました。

